

住宅確保要配慮者の入居及び居住に関する主な課題等(事前アンケートからの抽出)

【資料第1号】

| 主な課題 | | 望ましい支援等 | 備考 |
|--------------------------|--|---|----|
| <p>1 家賃が高い</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の予算が低い ・入居者が低所得者 ・生活保護の住宅扶助費内の物件だと、風呂なし・エレベーターなしであり、障害者・高齢者には困難 ・老朽化等による取り壊しによる、安価な住宅が減少 | <ul style="list-style-type: none"> ・家賃助成 ・住宅相談会 | |
| <p>2 対応物件が少ない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等に対応できる設備となっている物件が少ない ・歩行困難等に対応できるエレベーター付きや1階部分にある物件が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修費補助 ・空家活用 ・住宅情報の共有 | |
| <p>3 家主の不安</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢 ・精神疾患(理解不足を含む) ・障害 ・単身独居 ・生活保護受給 ・入居中の事故の心配 ・入居者の認知症の心配 ・賃料滞納 ・保証人がいない ・緊急連絡先がない ・孤独死 ・入居継続困難 | <ul style="list-style-type: none"> ・各保険の充実 ・家主への助成 ・緊急連絡先の代行 ・入居者の煩雑な手続き代行 ・機器設置の充実 ・見守り ・入居者を各種具体的なサービスへつなげる ・正しい理解への学習会開催 ・住宅扶助費の代理納付の推進 ・居住地域で支える意識の向上 ・貸主・借主・仲介業者等をつなぐ仕組みづくり ・障害者等を地域で孤立させない仕組みづくり ・支援者の養成 | |